

STAR

With



スターと!
vol. 11・12

年度間合併号

「スターと!」は施設運営に関する当法人の取り組みや思いを紹介する情報紙です。

発行 2024/2/18 発行所 社会福祉法人みずき福祉会 町田福祉園 事業推進係

町田福祉園施設長（ゼネラルマネージャー）林 良介より

平素より町田福祉園の運営にご理解とご協力をいただき心より感謝いたしております。
また、新型コロナウイルス感染対策につきまして、多くのご協力をいただきありがとうございます。

今年は新年早々、能登半島で震度7の地震と津波が発生いたしました。そして翌日には羽田空港で海上保安庁機と民間機が接触事故を起こすという大惨事が続きました。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々や関係者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

さて、人口減少が進む現代社会においては、様々な社会的課題が浮き彫りになってきています。その中で、障害福祉サービスを提供する私たちも、新たな視点でご利用者はもちろん、地域に対しても必要とされる様々な役割を果たすことが求められてくると思います。

例えば高齢化に伴う役割について、今まで通りのやり方が難しくなってきたと感じた場合、従来の支援方法にとらわれず、新たな視点で考える柔軟性も必要になってくると思います。

超高齢化社会である日本の、とある地方のスーパーマーケットでは「スローレジ」が急拡大していると聞きます。会計に時間をかけても良いレジを設けることで、高齢者や障害者、子ども連れなどが焦らず会計ができるため好評だそうです。レジの混雑時に会計であせってしまい、落ち着いて買い物ができないという声を受けて始まったサービスだそうです。

町田福祉園においては、今年度11月から隔月で「しえるマルシェみんなの食堂」を始めました。このイベントは、今までの「しえるマルシェ」に、誰でも安価でお食事を楽しんでいただける「子ども食堂」的な機能を持たせたものです。長く棟のスタッフが継続していたイベントが実を結びました。（裏面にも記事があります）

人口減少が進むと、地域社会全体が協力し合うことがより重要になってきます。地域と連携し、お互いに支え合えるネットワークを構築するためのはじめの一歩になればと考えております。さらに、グループホームの敷地で開催することにより、利用者様と地域の方々との交流も実現しています。そして、近隣の大学生や高校生などのボランティアの方々にもご参加いただいております。障害がある方への理解と将来に向けての福祉人材確保にもつながるかもしれません。

これからも町田福祉園およびグループホームしえるユニットでは、利用者様が地域とのつながりを持って充実した生活を送れるよう、持続可能な取り組みを継続して行っていきます。

今後ともご理解とご協力の程を、どうぞよろしくお願いいたします。

施設長 林 良介

